

News Release



平成29年7月12日

各報道機関文教担当記者 殿

平成30年度金沢大学入学者選抜に関する要項の公表について

日頃から、本学の教育研究活動に係る報道等に御協力いただき、誠にありがとうございます。

標記のことについて、下記のとおり説明に伺いますので、よろしくお願いいたします。

記

- 1 日時 : 平成29年7月19日(水) 14時00分から(30分程度)
- 2 場所 : 石川県文教記者室(県庁)
- 3 説明者 : 学長補佐(入試・入試改革) 岩見 雅史
学生部入試課長 久保 真一
- 4 内容 : 平成30年度金沢大学入学者選抜に関する要項
について説明

<本件に関する照会先>

金沢大学学生部入試課長 久保

Tel:264-5175

<担当>

金沢大学総務部広報室 桶作

Tel:264-5024

もっと自由に もっと深く

「3学域16学類」から「3学域17学類」へ

Now an East Asian Center
of Intelligence



University.
And Beyond.

本資料では、設置構想中のため、新設コース等について名称、教育内容等について変更の可能性があります

人間社会学域の教育改革

地域創造学類に観光学・文化継承コースを新設



金沢の伝統工芸や伝統文化，能登の里山・里海など，自然資源や文化資源の価値や地域との関わりについての学修。

自然や文化と人間社会の共生を目指し，地域的課題の調査・分析を行い，観光を通じた豊かな社会を構想できる人材の養成。

平成29年度 (定員80名)

- 福祉マネジメントコース
- 環境共生コース
- 地域プランニングコース
- 健康スポーツコース

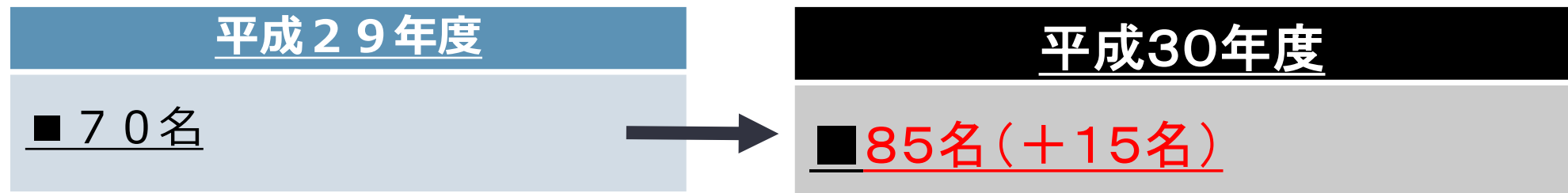


平成30年度 (定員90名)

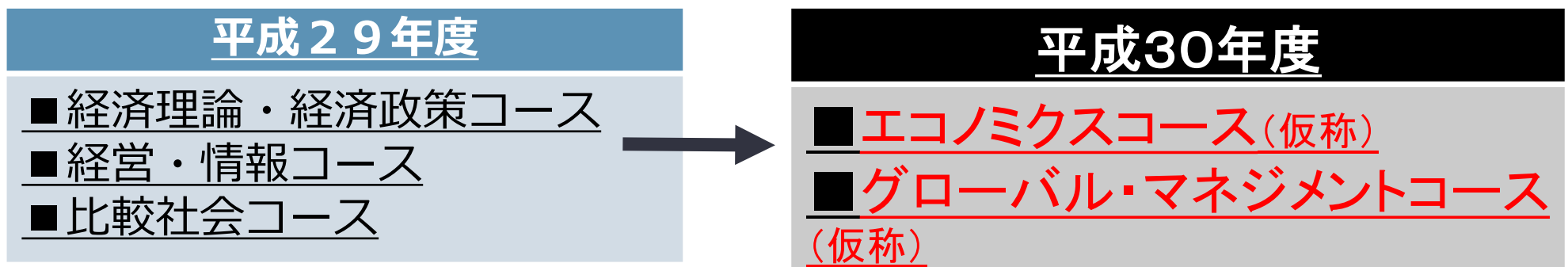
- 福祉マネジメントコース
- 環境共生コース
- 地域プランニングコース
- 観光学・文化継承コース (仮称)

人間社会学域の教育改革

国際学類は高いニーズに対応し、定員増を実施



経済学類は社会状況等を踏まえた教育プログラム(コース)の抜本的見直しと先鋭化を実施



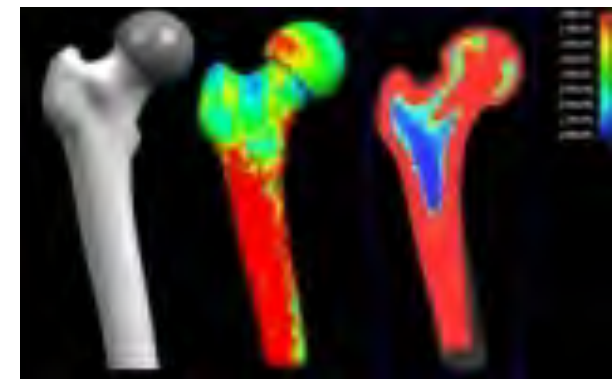
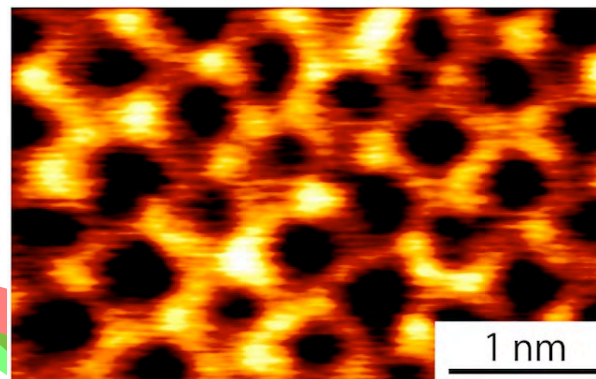
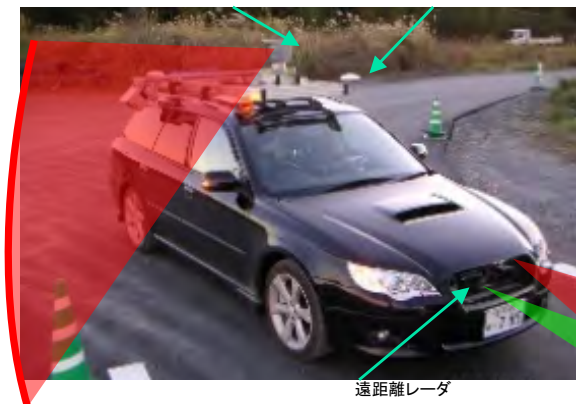
エコノミクスコースは理論・政策系, グローバル系, グローバル・マネジメントコースはグローバル系, マネジメント系の科目を重点的に履修。1クォーターを海外留学, インターンシップにあてられる。

理工学域の教育改革

フロンティア工学類(仮称)を新設

全方位レーザ
レンジファインダ

GPS/INS複合
慣性航法システム



異なる工学分野を融合することにより、工学未踏領域の開拓者(イノベーター)を育成。教育プログラムも刷新し、コース制をとらず、コアプログラム(電子機械, 機械, 化学工学, 電子情報)を学んだ後、フロンティアプログラム(知能プログラム, バイオメカトロニクス, マテリアルデザイン, 計測システムデザイン, ヒューマン・エコシステム, ナノセンシング)で実践。

理工学域の教育改革

生命理工学類(仮称)を新設



生物学，バイオ工学，生命情報学分野のイノベーティブな
専門人材を育成。

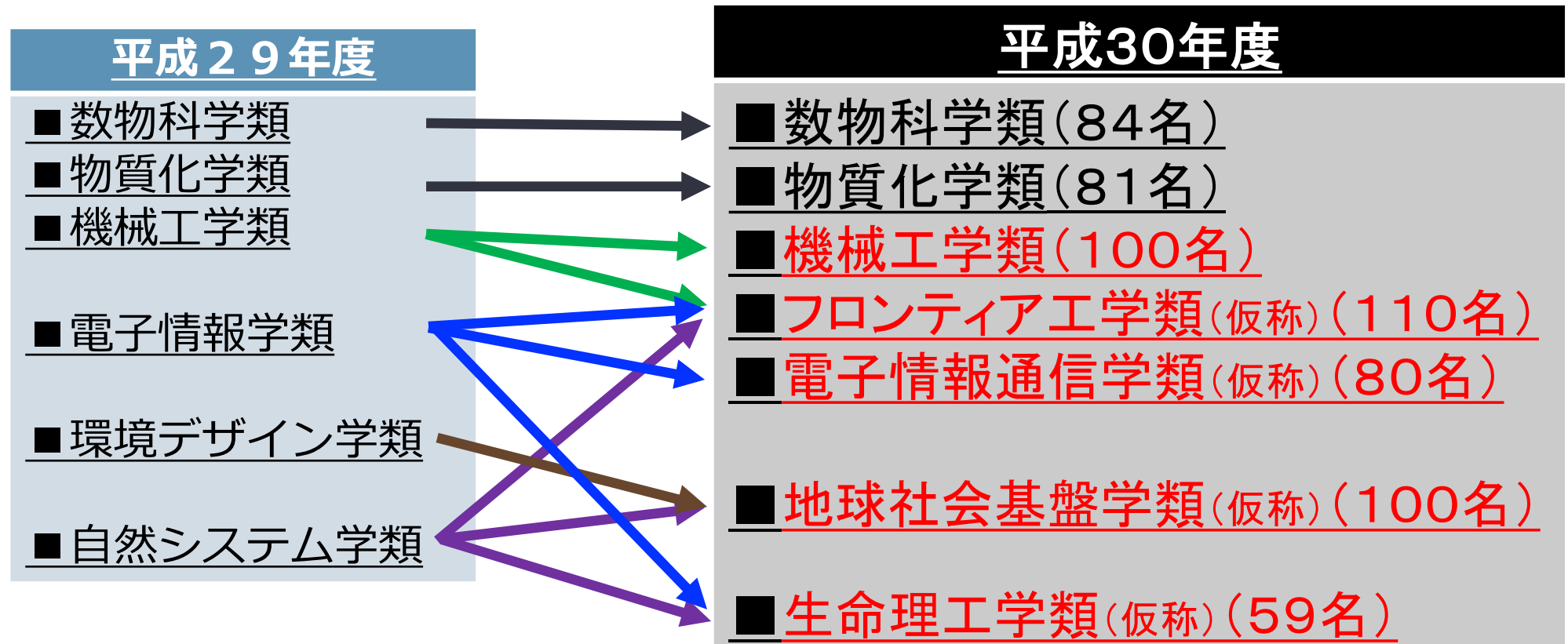
能登海洋教育研究施設を新設，ゲノム編集，バイオインフォマティクスを活用した水産資源の開発



現有の臨海実験施設

理工学域の教育改革

地球社会基盤学類(仮称)は地球の営みを解き明かし、様々な分野の発展を支える学類として、再編により誕生



数物科学類, 物質化学類は変更なし。機械工学類, 電子情報学類はコースを先鋭化し, (新)機械工学類, 電子情報通信学類(仮称)として再編

金沢大学の入試改革



文系後期一括，理系後期一括入試の導入

経過選択制

- ・ 大きな分野（学類）だけ決めて入学
- ・ 学んだ後，自分の専門分野を決定
- ・ 入学時に「何を学ぶか」を詳細に決める必要なし



戦略的な経過選択制

- ・ 従来の垣根を越えて募集
- ・ 国際感覚を養い，学んだ後，自分の専門分野を決定
- ・ 入学時に「何を学ぶか」を決める必要なし（理系では理工，医薬保健の「枠」さえ取り払う）

1年次は国際基幹教育院総合教育部に所属，経過選択制を戦略的に活用することで，金沢大学<グローバル>スタンダードが目指す人材像である「国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材」の優れた資質・能力・意欲を備えることを目指す。

金沢大学の入試改革

文系後期一括入試

入 試

■ 文系(募集人員62名)



本人の希望, 学業成績等を考慮し決定

2年次からの所属

- 人文学類(13名)
- 法学類(15名)
- 経済学類(15名)
- 学校教育学類(2名)
- 地域創造学類(10名)
- 国際学類(7名)

センター試験

「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」から2教科
200点(100点 X 2), 「英語」200点

個別学力検査

総合問題 300点

金沢大学の入試改革

理系後期一括入試

入 試

■ 理系(募集人員82名) →

本人の希望, 学業成績等を考慮し決定

2年次からの所属

- 数物科学類(8名)
- 物質化学類(8名)
- 機械工学類(10名)
- フロンティア工学類(仮称)(20名)
- 電子情報通信学類(仮称)(8名)
- 地球社会基盤学類(仮称)(10名)
- 生命理工学類(仮称)(9名)
- 医学類(1名)
- 創薬科学類(2名)
- 保健学類(6名)

センター試験

「**数学**(数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B)」 100点, 「**英語**」 100点

個別学力検査

「**物理基礎・物理**」, 「**化学基礎・化学**」から1 300点

金沢大学の入試改革

3学類前期一括入試*

入 試

■ 3学類前期一括
(募集人員252名)



2年次からの所属

- 機械工学類(仮称)(90名)
- フロンティア工学類(仮称)(90名)
- 電子情報通信学類(仮称)(72名)

基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価し決定。入試成績上位者は希望学類を入学時に決めることができる。

個別学力検査は、

「数学」500点, 「物理基礎・物理」400点, 「英語」400点

*理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試」の略称

金沢大学の入試改革

- 推薦入試Ⅰの募集取りやめ
 - 人間社会学域人文学類人間科学コース(専門分野:哲学・人間学), 歴史文化化学コース(専門分野:日本史学, 東洋史学, 西洋史学), 言語文化化学コース(専門分野:中国語学中国文学)
- 募集取りやめ
 - 人間社会学域経済学類の一般入試(後期日程)
- 推薦入試Ⅱ(石川県教員希望枠と専修枠)に変更
 - 人間社会学域学校教育学類の推薦入試
- 健康スポーツコースの廃止と推薦入試Ⅱへの変更
 - 人間社会学域地域創造学類の推薦入試
- 薬学類と創薬科学類を分けて募集
 - 医薬保健学域薬学類・創薬科学類のAO入試
- 推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更
 - 医薬保健学域保健学類理学療法学専攻

以上は一部です。教科・科目等にも複数の変更点があります。必ず、選抜要項で確認をお願いします。

金沢大学の入試改革



スーパーグローバル大学としての立ち位置

- **国際バカロレア入試**
 - 医学類を除くすべての学類で導入
- **外部試験*スコアの積極的な利用**
 - 前期日程では、人文、経済、学校教育、地域創造、国際、保健の各学類入試で利用可能
 - 後期日程では、人文、地域創造、国際、数物科学、物質化学、地球社会基盤、保健の各学類入試、文系・理系後期一括入試で利用可能
 - 推薦入試IIで5学類、AO入試でも利用可能

***外部試験**: GTEC-CBT, TOEFL-iBT, IELTS, TEAP等

以上は一部です。利用方法等については、必ず、選抜要項で確認をお願いします。

平成30年度(2018年度)金沢大学入学者選抜に関する要項

金沢大学では、2018(平成30)年4月に人間社会学域及び理工学域の改組を文部科学省に申請中であり、改組に関係する学類名称、募集人員及び入学者選抜方法等については、変更となる可能性があります。

～前年度からの主な変更点～

1 募集について

- ① 理工学域の改組について
- ② 理工学域の入試区分について
- ③ 「文系後期一括、理系後期一括」入試について
- ④ 人間社会学域人文学類人間科学コース(専門分野:哲学・人間学)、歴史文化学コース(専門分野:日本史学、東洋史学、西洋史学)、言語文化学コース(専門分野:中国語学中国文学) 推薦入試Ⅰの募集取りやめ
- ⑤ 人間社会学域 経済学類の一般入試(後期日程)の募集取りやめ
- ⑥ 人間社会学域 学校教育学類の推薦入試の変更(推薦入試Ⅱ(石川県教員希望枠と専修枠)に変更)
- ⑦ 人間社会学域 地域創造学類の推薦入試の変更(健康スポーツコースの廃止と推薦入試Ⅱへの変更)
- ⑧ 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類のAO入試の変更(薬学類と創薬科学類を分けて募集)
- ⑨ 医薬保健学域 保健学類 理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

2 募集人員について

3 教科・科目等について

一般入試・推薦入試・AO入試

<英語外部試験の利用>

- ① 大学入試センター試験の外国語「英語」での外部試験の利用について

一般入試

<人間社会学域 法学類>

- ② 一般入試(前期日程L方式)で課す大学入試センター試験の配点の変更(外国語)
- ③ 一般入試(前期日程M方式)で課す大学入試センター試験の配点の変更(外国語)
- ④ 一般入試(後期日程)で課す大学入試センター試験の配点の変更(外国語)

<人間社会学域 経済学類>

- ⑤ 一般入試(前期日程)で課す大学入試センター試験の配点の変更(外国語)と個別学力検査等で課す科目と配点の変更(国語の取り止めとそれに伴う配点変更)

<人間社会学域 学校教育学類>

- ⑥ 一般入試(前期日程)で課す大学入試センター試験の科目の変更(「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用)

<人間社会学域 地域創造学類>

- ⑦ 一般入試(前期日程)で課す大学入試センター試験の科目変更(「世界史A」、「日本史A」、「地理A」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用)及び配点変更(外国語)
- ⑧ 一般入試(後期日程)で課す大学入試センター試験の科目の変更(「世界史A」、「日本史A」、「地理A」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用)

<理工学域 数物科学類>

- ⑨ 一般入試(前期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑩ 一般入試(後期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点

<理工学域 物質化学類>

- ⑪ 一般入試(前期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑫ 一般入試(後期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点

<理工学域 機械工学類、フロンティア工学類(仮称)、電子情報通信学類(仮称)>

- ⑬ 一般入試(前期日程※)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点

※理工3学類(機械工学類、フロンティア工学類(仮称)、電子情報通信学類(仮称))前期一括入試

<理工学域 地球社会基盤学類(仮称)>

- ⑭ 一般入試(前期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ⑮ 一般入試(後期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点

<理工学域 生命理工学類(仮称)>

- ⑯ 一般入試(前期日程)で課すセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点

<医薬保健学域 保健学類>

- ⑰ 放射線技術科学専攻の一般入試(前期日程)で課す大学入試センター試験の配点変更(国語と理科)及び個別学力検査等で課す科目と配点の変更(数学の新設、理科の「生物基礎」・「生物」を取り止め)
- ⑱ 放射線技術科学専攻の一般入試(後期日程)で課す大学入試センター試験の配点変更(国語と理科)
- ⑲ 検査技術科学専攻の一般入試(前期日程)の個別学力検査等で課す科目と配点の変更(数学の新設)

<文系後期一括、理系後期一括入試>

- ⑳ 「文系後期一括、理系後期一括」入試で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点

推薦入試Ⅰ

<人間社会学域 国際学類>

- ㉑ 推薦入試Ⅰの第1次選考の英語外部試験の種類の追加変更

推薦入試Ⅱ

<人間社会学域 法学類>

- ㉒ 推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点の変更(外国語)

<人間社会学域 学校教育学類>

- ㉓ 推薦入試Ⅱの「石川県教員希望枠」の推薦要件及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ㉔ 推薦入試Ⅱの専修枠「国語・社会科・英語教育専修」の推薦要件の変更及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ㉕ 推薦入試Ⅱの専修枠「数学・理科教育専修」の推薦要件の変更及びセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点
- ㉖ 美術教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「美術教育専修」に変更
- ㉗ 保健体育専修及び家政教育専修の推薦入試Ⅱを専修枠「保健体育専修」及び「家政教育専修」として大学入試センター試験で課す科目の変更(「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」の利用)
- ㉘ 特別支援教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「特別支援教育専修」に変更

<人間社会学域 地域創造学類>

- ㉙ 福祉マネジメントコースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更
- ㉚ 環境共生コースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

<医薬保健学域 医学類>

- ㉛ 推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠(石川県枠・富山県枠)〕の推薦要件の変更(成績が「A段階以上」を「B段階」に変更)

<医薬保健学域 保健学類>

- ㉜ 放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点変更(国語と理科)
- ㉝ 理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更

帰国子女入試

③4 出願資格の変更

<人間社会学域 国際学類>

③5 帰国子女入試の第1次選考の英語外部試験の種類追加変更

<理工学域>

③6 帰国子女入試の選抜方法

国際バカロレア入試

<理工学域>

③7 国際バカロレア入試の出願資格及び選抜方法

A0入試

<医薬保健学域 薬学類・創薬科学類>

③8 A0入試の変更（選抜方法と日程）

私費外国人留学生入試

③9 出願資格の変更

<理工学域>

④0 私費外国人留学生入試の選抜日程

<医薬保健学域 保健学類>

④1 私費外国人留学生入試の選抜方法（実施教科・科目及び配点等）の変更

1 募集について

① 理工学域について下記のとおり改組を行う。

平成 29 年度	平成 30 年度 (予定)
数物科学類	数物科学類
物質化学類	物質化学類
機械工学類	機械工学類
電子情報学類	フロンティア工学類 (仮称)
環境デザイン学類	電子情報通信学類 (仮称)
自然システム学類	地球社会基盤学類 (仮称)
	生命理工学類 (仮称)

② 理工学域の一般入試及び推薦入試の実施は下記のとおりとする。(入試教科・科目等は別記に示す。)

選抜方法等	前期日程	「理系後期一括」入試	後期日程	推薦入試
学類				
数物科学類	○	○	○	—
物質化学類	○		○	—
機械工学類	○ (3学類前期一括入試*)		—	—
フロンティア工学類 (仮称)			—	—
電子情報通信学類 (仮称)			—	—
地球社会基盤学類 (仮称)	○		○	—
生命理工学類 (仮称)	○		—	—

* 「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称) 前期一括入試」の略称

③ 「文系後期一括, 理系後期一括」入試の概要は下記のとおりとする。(入試教科・科目等は別記に示す。)

<学域・学類への移行について>

入試	1年次の所属	2年次からの所属	
		学域	学 類
一括入試 (後期)			
文系 (募集人員 62 名)	国際基幹教育院 総合教育部	人間社会学域	人文学類
			法学類
			経済学類
			学校教育学類
			地域創造学類
			国際学類
理系 (募集人員 82 名)	国際基幹教育院 総合教育部	理工学域	数物科学類
			物質化学類
			機械工学類
			フロンティア工学類 (仮称)
			電子情報通信学類 (仮称)
			地球社会基盤学類 (仮称)
			生命理工学類 (仮称)
		医薬保健学域	医学類
			創薬科学類
			保健学類

④ 人間社会学域 人文学類 人間科学コース (専門分野: 哲学・人間学), 歴史文化学コース (専門分野: 日本史学, 東洋史学, 西洋史学), 言語文化学コース (専門分野: 中国語学中国文学) において推薦入試Ⅰの募集を取りやめる。

⑤ 人間社会学域 経済学類の一般入試 (後期日程) の募集を取りやめる。

⑥ 人間社会学域 学校教育学類の推薦入試について「石川県教員希望枠」及び「専修枠」を設けるとともに, 次のとおり変更する。(「石川県教員希望枠」及び「専修枠」の推薦要件, 入試教科・科目等は別記に示す。)

平成 29 年度		平成 30 年度			
推薦入試Ⅰ	特別支援教育専修 美術教育専修	推薦入試Ⅱ	石川県教員 希望枠	専修枠	国語・社会科・英語教育専修 数学・理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家政教育専修 特別支援教育専修
推薦入試Ⅱ	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 家政教育専修 英語教育専修				

⑦ 人間社会学域 地域創造学類の推薦入試について, 下記のとおり変更する。

(推薦要件, 入試教科・科目等は別記に示す。健康スポーツコースは廃止の予定。)

平成 29 年度		平成 30 年度	
推薦入試Ⅰ	福祉マネジメントコース 環境共生コース	推薦入試Ⅱ	福祉マネジメントコース 環境共生コース 地域プランニングコース
推薦入試Ⅱ	地域プランニングコース 健康スポーツコース		

⑧ 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類のAO入試について, 薬学類 (6年制) と創薬科学類 (4年制) での一括の募集から, 薬学類と創薬科学類にそれぞれ分けて募集することに変更するとともに, 選抜方法等を変更する。(出願資格, 出願基準, 選抜方法, 日程等は別記に示す。)

⑨ 医薬保健学域 保健学類 理学療法学専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。(推薦要件, 入試教科・科目等は別記に示す。)

2 募集人員について ……(要項p.11参照)

- ① 「文系後期一括, 理系後期一括」入試を導入する。
- ② 「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試」を導入する。
- ③ 入学定員, 募集人員(一般入試, 推薦入試, AO入試)を変更する。

【平成29年度】

学域・学類等	入学定員	募集人員						
		一般入試		推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	AO入試	私費外国人留学生入試
		前期日程	後期日程					
人文学類	145	105	35	5 1 1 1 1	若干名	若干名	—	若干名
法学類	170	L方式 125 M方式 75 75 50	30	推薦入試II 15	若干名	若干名	—	若干名
経済学類	185	150	25	推薦入試I 10	若干名	若干名	—	若干名
学校教育学類	100	64	—	推薦入試I (特別支援教育専修 5 美術教育専修 3) 28 推薦入試II (国語教育専修 3 社会科教育専修 4) 7 (数学教育専修 3 理科教育専修 3) 6 (音楽教育専修 4 保健体育専修 5) 9 (家政教育専修 3 英語教育専修 3) 6	—	若干名	—	若干名
地域創造学類	80	50	10	推薦入試I (福祉マネジメントコース 4) 4 (環境共生コース 12) 12 推薦入試II (地域プランニングコース 4) 4 (健康スポーツコース 8) 8	若干名	若干名	—	若干名
国際学類	70	40	15	推薦入試I 15	若干名	若干名	—	若干名
計	750	534	115	推薦入試I 101 推薦入試II 46 55	—	—	—	—
理工学域								
数物科学類	84	69	15	—	若干名	若干名	—	若干名
物質化学類	81	61	20	—	若干名	若干名	—	若干名
機械工学類	140	120	20	—	若干名	若干名	—	若干名
電子情報学類	108	86	22	—	若干名	若干名	—	若干名
環境デザイン学類	74	64	10	—	若干名	若干名	—	若干名
自然システム学類	102	82	13	推薦入試I 7	若干名	若干名	—	若干名
計	589	482	100	推薦入試I 7 推薦入試II 27 12	—	—	—	—
医学類(6年制)	112	85	—	推薦入試I (一般枠 15 特別枠 12)	若干名	—	—	若干名
薬学類(6年制)	35	70	—	—	若干名	若干名	5	若干名
創薬科学類	40							
看護学専攻	80	55	10	推薦入試I 15	若干名	若干名	—	若干名
放射線技術科学専攻	40	29	5	推薦入試II 6	若干名	若干名	—	若干名
検査技術科学専攻	40	29	5	推薦入試II 6	若干名	若干名	—	若干名
理学療法専攻	20	15	—	推薦入試I 5	若干名	若干名	—	若干名
作業療法専攻	20	15	—	推薦入試I 5	若干名	若干名	—	若干名
小計	200	143	20	推薦入試I 37 推薦入試II 25 12	—	—	—	—
計	387	298	20	推薦入試I 64 推薦入試II 25 39	—	—	5	—
合計	1,726	1,314	235	推薦入試I 172 推薦入試II 78 94	—	—	5	—



【平成30年度】

学域・学類等	入学定員	募集人員									
		一般入試			推薦入試	帰国子女入試	国際バカロレア入試	AO入試	私費外国人留学生入試	3学類前期一括入試からの移行人数	後期一括入試入学者の移行人数
		前期日程	後期日程	後期一括入試							
人文学類	145	100	32	—	若干名	若干名	—	若干名	—	13	
法学類	170	L方式 115 M方式 70 45	30	推薦入試II 10	若干名	若干名	—	若干名	—	15	
経済学類	185	140	—	推薦入試I 10	若干名	若干名	—	若干名	—	15	
学校教育学類	100	64	—	推薦入試II (石川県教員希望枠 34) 34 (国語・社会科・英語教育専修 26) 26 数学・理科教育専修 4 音楽教育専修 4 芸術教育専修 8 保健体育専修 5 家政教育専修 3 特別支援教育専修 5	—	若干名	—	若干名	—	2	
地域創造学類	90	55	10	推薦入試II (福祉マネジメントコース 15) 15 (環境共生コース 2) 2 地域プランニングコース 3	若干名	若干名	—	若干名	—	10	
国際学類	85	48	15	推薦入試I 15	若干名	若干名	—	若干名	—	7	
計	725	492	87	推薦入試I 84 推薦入試II 25 59	—	—	—	—	—	62	
理工学域											
数物科学類	84	64	12	—	若干名	若干名	—	若干名	—	8	
物質化学類	81	55	18	—	若干名	若干名	—	若干名	—	8	
機械工学類	100	—	—	—	若干名	若干名	—	若干名	—	90	
フロンティア工学類(仮称)	110	252	—	—	若干名	若干名	—	若干名	—	90	
電子情報通信学類(仮称)	80	—	—	—	若干名	若干名	—	若干名	—	72	
地球社会基盤学類(仮称)	100	78	12	—	若干名	若干名	—	若干名	—	10	
生命理工学類(仮称)	59	50	—	—	若干名	若干名	—	若干名	—	9	
計	614	499	42	—	—	—	—	—	—	252	
医薬保健学域											
医学類(6年制)	107	84	—	推薦入試II (一般枠 22) 22 (特別枠 15) 15 7	若干名	—	—	若干名	—	1	
薬学類(6年制)	35	64	—	—	若干名	若干名	8	若干名	—	—	
創薬科学類	40	—	—	—	若干名	若干名	6	若干名	—	2	
看護学専攻	80	55	9	推薦入試I 15	若干名	若干名	—	若干名	—	1	
放射線技術科学専攻	40	29	5	推薦入試II 5	若干名	若干名	—	若干名	—	1	
検査技術科学専攻	40	29	3	推薦入試II 6	若干名	若干名	—	若干名	—	2	
理学療法専攻	20	15	—	推薦入試II 4	若干名	若干名	—	若干名	—	1	
作業療法専攻	20	15	—	推薦入試I 5	若干名	若干名	—	若干名	—	1	
小計	200	142	17	推薦入試I 35 推薦入試II 20 15	—	—	—	—	—	6	
計	382	290	17	推薦入試I 57 推薦入試II 20 37	—	—	9	—	—	9	
合計	1,721	1,281	146	推薦入試I 141 推薦入試II 45 96	—	—	9	—	—	252	

* 「理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試」の略称

3 教科・科目、配点等について

① 大学入試センター試験の「英語」での外部試験の利用について ……（要項 p. 17, p. 28 参照）

大学入試センター試験の「英語」について、以下の表に○で示す試験区分においては、外部試験のスコアの提出を認め、TOEFL-iBT: 45～68, IELTS (アカデミック・モジュール) バンド: 3.0～6.0, GTEC-CBT: 820～1100, TEAP: 246～304 の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-iBT: 68以上, IELTS (アカデミック・モジュール) バンド: 6.0以上, GTEC-CBT: 1100以上, TEAP: 304以上の場合、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

以下の表に*で示す医学類の推薦入試IIにおいては、外部試験 (TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT, TEAP) のスコアの提出を認め、CEFR のC1 相当以上のスコアを有する場合に、大学入試センター試験の「英語」の得点ではなく、総合評価に反映させます (C1 相当以上のスコアとは、TOEFL-iBT: 95-120, IELTS: 7.0以上, GTEC-CBT: 1400, TEAP: 400 に相当します)。選抜は、大学入試センター試験の成績、口頭試問による面接の結果及び提出書類等 (調査書, 推薦書, 志願理由書, 外部試験のスコア) を総合して行います。ただし、外部試験の受験は出願資格ではありません。外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。

<上記の外部試験のスコアの提出を認める試験区分> ○と*は外部試験のスコアの提出を認める試験区分です。

学 域	学 類	前期日程	後期日程	推薦入試II	AO入試
人間社会学域	人文学類	○	○		
	法学類	—	—	○	
	経済学類	○			
	学校教育学類	○		○	
	地域創造学類	○	○	○	
	国際学類	○	○		
理工学域	数物科学類	—	○		
	物質化学類	—	○		
	機械工学類				
	フロンティア工学類 (仮称)	—			
	電子情報通信学類 (仮称)				
	地球社会基盤学類 (仮称)	—	○		
	生命理工学類 (仮称)	—			
医薬保健学域	医学類	—		*	
	薬学類	—			○
	創薬科学類	—			○
	保健学類	○	○	○	
文系後期一括, 理系後期一括	—	○			

(注) — は外部試験を利用しない試験区分です。

② 人間社会学域 法学類の一般入試 (前期日程L方式) で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更する。 ……（要項 p. 18 参照）

【変更前 (平成29年度)】

配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		200	100	200			900
	個別学力検査等	300					300			600
	合 計	500	200		200	100	500			1500



【変更後 (平成30年度)】

配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		200	100	250			950
	個別学力検査等	300					300			600
	合 計	500	200		200	100	550			1550

③ 人間社会学域 法学類の一般入試 (前期日程M方式) で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更する。 ……（要項 p. 18 参照）

【変更前 (平成29年度)】

配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		200	100	200			900
	個別学力検査等				300		300			600
	合 計	200	200		500	100	500			1500



【変更後 (平成30年度)】

配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※200 (100×2)		200	100	250			950
	個別学力検査等				300		300			600
	合 計	200	200		500	100	550			1550

④ 人間社会学域 法学類の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更する。
……（要項 p. 18 参照）

【変更前（平成29年度）】

科目等	センター試験	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		200	※200 (100×2)		200	100	200	100	200	
個別学力検査等								600		600
合計		200	200	200	100	200	600			1500



【変更後（平成30年度）】

科目等	センター試験	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		200	※200 (100×2)		200	100	250		600	
個別学力検査等								600		600
合計		200	200	200	100	250	600			1550

⑤ 人間社会学域 経済学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更する。
……（要項 p. 18 参照）

【変更前（平成29年度）】

科目等	個別学力検査等	国語	「国語総合」		数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」		外国語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」		配点合計
センター試験		200	※200 (100×2)		200	100	200				900
個別学力検査等		200			200		200				600
計		400	200		400	100	400				1500



【変更後（平成30年度）】

科目等	個別学力検査等	国語	「国語総合」		数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」		外国語	「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」		配点合計
センター試験		200	※200 (100×2)		200	100	250				950
個別学力検査等		200			300		300				600
計		400	200		500	100	550				1550

⑥ 人間社会学域 学校教育学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更する。
……（要項 p. 19 参照）

【変更前（平成29年度）】

センター試験	科目等名	
	パターンA	パターンB
センター試験	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「(国語) 「(世界史B), 「日本史B), 「地理B)」 } から2 「(倫理, 政治・経済)」 } 「(数学Ⅰ・数学A)」と 「(数学Ⅱ・数学B), 「簿記・会計), 「情報関係基礎」から1) 「(物理基礎), 「化学基礎), 「生物基礎), 「(地学基礎」から2) 又は 「(物理), 「化学), 「生物), 「(地学」から1) 「(英語), 「(ドイツ語), 「(フランス語), 「(中国語), 「(韓国語」から1) 【5教科7科目】、【5教科8科目】、【6教科7科目】又は【6教科8科目】
センター試験	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「(国語) 「(世界史B), 「日本史B), 「地理B)」 } から1 「(倫理, 政治・経済)」 } 「(数学Ⅰ・数学A)」と 「(数学Ⅱ・数学B), 「簿記・会計), 「情報関係基礎」から1) 「(物理基礎), 「化学基礎), 「生物基礎), 「(地学基礎」から2)と 「(物理), 「化学), 「生物), 「(地学」から1) (注) 又は 「(物理), 「化学), 「生物), 「(地学」から2) 「(英語), 「(ドイツ語), 「(フランス語), 「(中国語), 「(韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注：パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。



【変更後（平成30年度）】

センター試験	科目名等	
	パターンA	パターンB
センター試験	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「(国語) 「(世界史B), 「日本史B), 「地理B)」から1又は2) } から2 「(現代社会), 「倫理), 「政治・経済), 「(倫理, 政治・経済」から1) } (注1) 「(数学Ⅰ・数学A)」と 「(数学Ⅱ・数学B), 「簿記・会計), 「情報関係基礎」から1) 「(物理基礎), 「化学基礎), 「生物基礎), 「(地学基礎」から2) 又は 「(物理), 「化学), 「生物), 「(地学」から1) 「(英語), 「(ドイツ語), 「(フランス語), 「(中国語), 「(韓国語」から1) 【5教科7科目】、【5教科8科目】、【6教科7科目】又は【6教科8科目】
センター試験	国語 地理歴史 公民 数学 理科 外国語	「(国語) 「(世界史B), 「日本史B), 「地理B)」 } から1 「(現代社会), 「倫理), 「政治・経済), 「(倫理, 政治・経済)」 } 「(数学Ⅰ・数学A)」と 「(数学Ⅱ・数学B), 「簿記・会計), 「情報関係基礎」から1) 「(物理基礎), 「化学基礎), 「生物基礎), 「(地学基礎」から2)と 「(物理), 「化学), 「生物), 「(地学」から1) (注2) 又は 「(物理), 「化学), 「生物), 「(地学」から2) 「(英語), 「(ドイツ語), 「(フランス語), 「(中国語), 「(韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】

注1：パターンAの、『「地理歴史」「公民』は、次のいずれかの組合せとします。

『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

注2：パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせることはできません。

⑦ 人間社会学域 地域創造学類の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の科目及び配点を下記のとおり変更する。 ……(要項 p. 20～p. 21 参照)

【変更前（平成29年度）】

		教科	科目名等									
センター試験	パターンA	国語	(「国語」) 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) } から2 (「倫理、政治・経済」) (「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2) 又は (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1) (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) 【5教科7科目】、【5教科8科目】、【6教科7科目】又は【6教科8科目】									
	パターンB	国語	(「国語」) 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) } から1 (「倫理、政治・経済」) (「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2)と (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1) (注) 又は (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2) (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】									
配点		パターン	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	パターンA	200	※200 (100×2)		200	100	200			900	
		パターンB	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	
	個別学力検査等		※200			※200		※200			400	
	計	パターンA 国・数選択 (個別)	400	200		400	100	200			1300	
		パターンA 国・外選択 (個別)	400	200		200	100	400				
		パターンA 数・外選択 (個別)	200	200		400	100	400				
パターンB 国・数選択 (個別)		400	100		400	200	200					
パターンB 国・外選択 (個別)		400	100		200	200	400					
	パターンB 数・外選択 (個別)	200	100		400	200	400					

注：パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせで選択することはできません。



【変更後（平成30年度）】

		教科	科目名等									
センター試験	パターンA	国語	(「国語」) 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」) } から2 (「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」) (「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2) 又は (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1) (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) 【5教科7科目】、【5教科8科目】、【6教科7科目】又は【6教科8科目】									
	パターンB	国語	(「国語」) 地理歴史 公民 数学 理科 外国語 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」) } から1 (「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」) (「数学I・数学A」と 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) (「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2)と (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1) (注2) 又は (「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2) (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) 【5教科7科目】又は【5教科8科目】									
配点		パターン	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	パターンA	200		※200 (100×2)	200	100	200			950	
		パターンB	200		※100 (100×1)	200	200	200			950	
	個別学力検査等		※200			※200		※200			400	
	計	パターンA 国・数選択 (個別)	400		200	400	100	200			1350	
		パターンA 国・外選択 (個別)	400		200	200	100	450				
		パターンA 数・外選択 (個別)	200		200	400	100	450				
パターンB 国・数選択 (個別)		400		100	400	200	200	250				
パターンB 国・外選択 (個別)		400		100	200	200	450					
	パターンB 数・外選択 (個別)	200		100	400	200	450					

注1：パターンAの、「地理歴史」及び「公民」から2科目選択について、同一名称を含む科目（例えば「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」）を組み合わせで選択することはできません。

注2：パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせで選択することはできません。

⑧ 人間社会学域 地域創造学類の一般入試(後期日程)で課す大学入試センター試験の科目を下記のとおり変更する。
……(要項 p.20~p.21 参照)

【変更前(平成29年度)】

教科	科目名等
センター試験	国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) } から1 公民 (「倫理, 政治・経済」) 数学 (「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) 理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)
	【2教科2科目】又は【2教科3科目】

注: 大学入試センター試験において, 「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」, 「外国語」から3科目となるのは, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。



【変更後(平成30年度)】

教科	科目名等
センター試験	国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) } から1 公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) 数学 (「数学I・数学A」, 「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) 理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)
	【2教科2科目】又は【2教科3科目】

注: 大学入試センター試験において, 「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」, 「外国語」から3科目となるのは, 「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

⑨ 理工学域 数物科学類の一般入試(前期日程)の選抜方法を下記のとおりとする。……(要項 p.22~p.23 参照)

【平成30年度】

教科	科目名等																																								
センター試験	国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数学 (「数学I・数学A」)と(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) 理科 (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) 外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)																																								
個別学力検査等	数学 I・数学II・数学III・数学A・数学B 物理基礎・物理, 化学基礎・化学から1 コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II																																								
配点	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接・口述試験</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>200</td> <td colspan="2">※100 (100×1)</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>450</td> <td>350</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200</td> <td colspan="2">100</td> <td>650</td> <td>550</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td>1800</td> </tr> </tbody> </table>		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	個別学力検査等				450	350	100			900	計	200	100		650	550	300			1800
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計																																
センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900																																
個別学力検査等				450	350	100			900																																
計	200	100		650	550	300			1800																																

⑩ 理工学域 数物科学類の一般入試(後期日程)の選抜方法を下記のとおりとする。……(要項 p.22~p.23 参照)

【平成30年度】

教科	科目名等																																								
センター試験	国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) } から1 数学 (「数学I・数学A」)と(「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) 理科 (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) 外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)																																								
個別学力検査等	数学 I・数学II・数学III・数学A・数学B 物理基礎・物理																																								
配点	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>小論文</th> <th>面接・口述試験</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>200</td> <td colspan="2">※100 (100×1)</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>個別学力検査等</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200</td> <td colspan="2">100</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>1500</td> </tr> </tbody> </table>		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	個別学力検査等				300	300				600	計	200	100		500	500	200			1500
	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計																																
センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900																																
個別学力検査等				300	300				600																																
計	200	100		500	500	200			1500																																

⑪ 理工学域 物質化学類の一般入試(前期日程)の選抜方法を下記のとおりとする。 …… (要項 p.22~p.23 参照)

【平成30年度】

教科		科目名等								
センター試験	国語	〔「国語」〕								
	地理歴史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								
	公民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」〕 } から1								
	数学	〔「数学Ⅰ・数学A」と(「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1)〕								
理科	〔「物理」と「化学」〕									
外国語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕									
		[5教科7科目]								
個別学力検査等	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
	理科	化学基礎・化学								
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ								
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				400	400	400			1200
	計	200	100		600	600	600			2100

⑫ 理工学域 物質化学類の一般入試(後期日程)の選抜方法を下記のとおりとする。 …… (要項 p.22~p.23 参照)

【平成30年度】

教科		科目名等								
センター試験	国語	〔「国語」〕								
	地理歴史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								
	公民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」〕 } から1								
	数学	〔「数学Ⅰ・数学A」と(「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1)〕								
理科	〔「物理」と「化学」〕									
外国語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕									
		[5教科7科目]								
個別学力検査等	理科	化学基礎・化学								
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	50	※50 (50×1)		100	100	100			400
個別学力検査等					400				400	
計	50	50		100	500	100			800	

⑬ 理工学域 機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称)の一般入試(前期日程)の選抜方法を下記のとおりとする。 …… (要項 p.22~p.23 参照)

【平成30年度】

*理工3学類(機械工学類, フロンティア工学類(仮称), 電子情報通信学類(仮称))前期一括入試

教科		科目名等								
センター試験	国語	〔「国語」〕								
	地理歴史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								
	公民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」〕 } から1								
	数学	〔「数学Ⅰ・数学A」と(「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1)〕								
理科	〔「物理」と「化学」〕									
外国語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕									
		[5教科7科目]								
個別学力検査等	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
	理科	物理基礎・物理								
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ								
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				500	400	400			1300
	計	200	100		700	600	600			2200

⑭ 理工学域 地球社会基盤学類(仮称)の一般入試(前期日程)の選抜方法を下記のとおりとする。

…… (要項 p.23 参照)

【平成30年度】

教科		科目名等								
センター試験	国語	〔「国語」〕								
	地理歴史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								
	公民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」〕 } から1								
	数学	〔「数学Ⅰ・数学A」と(「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1)〕								
理科	〔「物理」と「化学」、「生物」、「地学」から1〕									
外国語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕									
		[5教科7科目]								
個別学力検査等	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
	理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物、地学基礎・地学から1								
	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ								
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		250	250	200			900
	個別学力検査等				300	300	300			900
	計	100	100		550	550	500			1800

⑮ 理工学域 地球社会基盤学類（仮称）の一般入試（後期日程）の選抜方法を下記のとおりとする。
……（要項 p. 23 参照）

【平成30年度】

教科		科目名等								
センター試験	国語	〔国語〕								
	地理歴史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								
	公民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」〕 から1								
	数学	〔「数学Ⅰ・数学A」と（「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）								
理科	〔「物理」、「化学」、「生物」から2〕									
外国語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕									
〔5教科7科目〕										
個別学力検査等	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	50	※50 (50×1)		200	200	200			700
	個別学力検査等				300					300
	計	50	50		500	200	200			1000

⑯ 理工学域 生命理工学類（仮称）の一般入試（前期日程）の選抜方法を下記のとおりとする。
……（要項 p. 23 参照）

【平成30年度】

教科		科目名等								
センター試験	国語	〔国語〕								
	地理歴史	〔「世界史B」、「日本史B」、「地理B」〕								
	公民	〔「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理 政治・経済」〕 から1								
	数学	〔「数学Ⅰ・数学A」と（「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）								
理科	〔「物理」、「化学」、「生物」から2〕									
外国語	〔「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1〕									
〔5教科7科目〕										
個別学力検査等	数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B								
理科	物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1									
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ									
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				300	300	300			900
	計	200	100		500	500	500			1800

⑰ 医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻の一般入試（前期日程）で課す大学入試センター試験の配点及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更する。 ……（要項 p. 24 参照）

【変更前（平成29年度）】

教科		科目名等									
科目等	個別学力検査等	理科	〔物理基礎・物理〕、〔化学基礎・化学〕、〔生物基礎・生物〕から1								
	外国語	〔コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕									
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	
	個別学力検査等					200	200			400	
	計	200	100		200	400	400			1300	



【変更後（平成30年度）】

教科		科目名等									
科目等	個別学力検査等	数学	〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B〕								
	理科	〔物理基礎・物理〕、〔化学基礎・化学〕から1									
外国語	〔コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ〕										
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計	
	センター試験	100	※100 (100×1)		200	400	200			1000	
	個別学力検査等				200	200	200			600	
	計	100	100		400	600	400			1600	

⑱ 医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻の一般入試（後期日程）で課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更する。 ……（要項 p. 24 参照）

【変更前（平成29年度）】

教科		科目名等								
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等							400		400
	計	200	100		200	200	200		400	1300



【変更後（平成30年度）】

教科		科目名等								
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		200	400	200			1000
	個別学力検査等							400		400
	計	100	100		200	400	200		400	1400

- ⑱ 医薬保健学域 保健学類 検査技術科学専攻の一般入試（前期日程）の個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおり変更する。……（要項 p. 24 参照）

【変更前（平成29年度）】

		教科	科目名等							
科目等	個別学力検査等	理科 外国語	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
		配点	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等				200	200				400
	計	200	100	200	400	400				1300



【変更後（平成30年度）】

		教科	科目名等							
科目等	個別学力検査等	数 学 理 科 外 国 語	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B」 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から1 「コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」							
		配点	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等			200	200	200				600
	計	200	100	400	400	400				1500

- ⑳ 「文系後期一括, 理系後期一括」入試で課す大学入試センター試験及び個別学力検査等の科目と配点を下記のとおりとする。……（要項 p. 25 参照）

【「文系後期一括」入試】

		選抜方法等と配点									
科目等	センター試験	国 語	科目名等								配点合計
		地理歴史 公 民 数 学 理 科 外 国 語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」から1) (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理 政治・経済」から1) (「数学Ⅰ・数学A」)と(「数学Ⅱ・数学B」) (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) (「英語」)	から2~4 (注)							
	個別学力検査等	その他	総合問題（英文を含む場合があります）								
配点	センター試験	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	面接・口述試験	配点合計	
	個別学力検査等							300		300	
	計	200					200	300			700

注： 「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」から2教科を選択します。「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」から3科目となるのは「数学」2科目もしくは「理科」の基礎を付した科目2科目と他教科の1科目の場合のみです。また、「国語」, 「地理歴史」, 「公民」, 「数学」, 「理科」から4科目となるのは「数学」2科目と「理科」の基礎を付した科目2科目の場合のみです。

【「理系後期一括」入試】

		選抜方法等と配点									
科目等	センター試験	数 学 外 国 語	科目名等								配点合計
		理 科	(「数学Ⅰ・数学A」)と(「数学Ⅱ・数学B」) (「英語」)	[2教科3科目]							
	個別学力検査等	理 科	「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」から1								
配点	センター試験	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	面接・口述試験	配点合計	
	個別学力検査等				100	300	100			200	
	計				100	300	100			500	

⑭ 人間社会学域 学校教育学類の推薦入試Ⅱの専修枠「国語・社会科・英語教育専修」の推薦要件の変更及び大学入試センター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおりとする。 ……（要項 p.31 参照）

【変更前（平成29年度）】（国語教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等、特に教育職員に就くにふさわしい資質・適正について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

【変更前（平成29年度）】（社会科教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

【変更前（平成29年度）】（英語教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	



【変更後（平成30年度）】【専修枠】 国語・社会科・英語教育専修

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	
※ 学校教育学類【専修枠】国語・社会科・英語教育専修の入学後の各専修への配属は、2年進級時に決定します。	

選 抜 方 法 等 と 配 点										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。										
		教 科	科 目 名 等							
科 目 等	センター試験	国 語	（「国語」）							
		地 理 歴 史	（「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1又は2）							
		公 民 数 学	（「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理・政治・経済」から1）							
		理 科	（「数学I・数学A」と「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1）							
		外 国 語	（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2）							
			又は（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1）							
			（「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1）							
			【5教科7科目】、【5教科8科目】、【6教科7科目】又は【6教科8科目】							
配 点	センター試験	その他	面接							
		面接								
		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		200	※200 (100×2)		100	100	200			800
								300		300
		計	200	200	100	100	200	300		1100

注：『「地理歴史」「公民」』は、次のいずれかの組合せとします。
 『「地理歴史」から2科目』又は『「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目』

㊸ 人間社会学域 学校教育学類の推薦入試Ⅱの専修枠「数学・理科教育専修」の推薦要件の変更及びセンター試験及び個別学力検査等で課す科目と配点を下記のとおりとする。 ……（要項 p. 32 参照）

【変更前（平成29年度）】（数学教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	

【変更前（平成29年度）】（理科教育専修）

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	



【変更後（平成30年度）】【専修枠】 数学・理科教育専修

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上（評定平均3.5以上）に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	
※ 学校教育学類【専修枠】 数学・理科教育専修の入学後の各専修への配属は、2年進級時に決定します。	

選 抜 方 法 等 と 配 点																
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等（調査書、推薦書、志願理由書）により総合して行います。																
科 目 等	教 科	科 目 名 等														
	センター試験	国 語	〔「国語」 〔「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」〕 〔「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」〕 から1 〔「数学I・数学A」〕と 〔「数学II・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1〕 〔「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2〕と 〔「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1〕 (注) 又は 〔「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2〕 〔「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1〕 【5教科7科目】又は【5教科8科目】							外 国 語						
	個別学力検査等	その他	面接													
配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計						
	センター試験	100	※100 (100×1)		200	200	100			700						
	個別学力検査等							300		300						
	計	100	100		200	200	100		300	1000						

注：「理科」のうち「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせて選択することはできません。

㊸ 人間社会学域 学校教育学類 特別支援教育専修の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱの専修枠「特別支援教育専修」に変更する。 …… (要項 p. 37 参照)

【変更前 (平成29年度)】

推薦要件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。	
選抜方法等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。	
3. 配点 小論文 400点 面接 200点	



【変更後 (平成30年度)】

推薦要件										
以下の1から4のすべての条件を満たす者										
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの										
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者										
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者										
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者										
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評がB段階以上(評定平均3.5以上)に該当し、特別支援教育に熱意を有する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの										
3. 合格した場合、入学することを確約できる者										
4. 推薦は、1校につき2名以内とします。										
選抜方法等										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。										
科目名等										
科目等	センター試験	国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) 公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) 数学 (「数学Ⅰ・数学A」)と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) 理科 (「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」から2) 又は (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から1) 外国語 (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)	} から1							
	個別学力検査等	その他		面接						
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	100	※100 (100×1)		100	100	100			500
	個別学力検査等							300	300	
	計	100	100	100	100	100	100	300	800	

㊹ 人間社会学域 地域創造学類 福祉マネジメントコースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。 …… (要項 p. 38 参照)

【変更前 (平成29年度)】

推薦要件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	
選抜方法等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。	
3. 配点 小論文 100点 面接 100点	



【変更後 (平成30年度)】

推薦要件										
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの										
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者										
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者										
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者										
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者										
2. 人物及び学業成績が優秀で、福祉マネジメントコースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者										
3. 合格した場合、入学することを確約できる者										
4. 推薦は、1校につき1名とします。										
選抜方法等										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。										
科目名等										
科目等	センター試験	国語 (「国語」) 地理歴史 (「世界史A」, 「世界史B」, 「日本史A」, 「日本史B」, 「地理A」, 「地理B」) 公民 (「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」) 外国語 「英語」	} から1							
	個別学力検査等	その他		面接						
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)				200			500
	個別学力検査等							500	500	
	計	200	100					200	500	1000

⑩ 人間社会学域 地域創造学類 環境共生コースの推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに変更する。 …… (要項 p.39 参照)

【変更前 (平成29年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	
選 抜 方 法 等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、小論文及び面接の結果を総合して行います。 なお、調査書、推薦書、志願理由書の提出書類は面接の際に参考とします。	
3. 配点 小論文 100点 面接 100点	



【変更後 (平成30年度)】

推 薦 要 件										
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの										
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者										
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者										
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者										
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者										
2. 人物及び学業成績が優秀で、環境共生コースでの勉学に強い意欲を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者										
3. 合格した場合、入学することを確約できる者										
4. 推薦は、1校につき1名とします。										
選 抜 方 法 等										
選抜は、 大学入試センター試験の成績 、面接の結果及び提出書類等(調査書、推薦書、志願理由書)により総合して行います。										
科 目 等	教 科	科 目 名 等								
	センター試験	国語	地理歴史	公民	数 学	理 科	外 国 語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		(「国語」)	(「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」から1)	(「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、「倫理、政治・経済」から1)	(「数学I・数学A」、「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1)	(「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2)	(「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1)			
		から2又は3 (注)								
		【2教科2科目】又は【2教科3科目】								
	個別学力検査等	その他	面接							
配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	※200(100×2)								200
	個別学力検査等									400
	計	200								400

注：大学入試センター試験において、「国語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」から3科目となるのは、「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科の1科目の場合のみです。

⑪ 医薬保健学域 医学類の推薦入試Ⅱ〔一般枠・特別枠(石川県枠・富山県枠)〕の推薦要件を下記のとおり変更する。 …… (要項 p.41~p.42 参照)

【変更前 (平成29年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月に修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評が A段階以上 (評定平均4.3以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	



【変更後 (平成30年度)】

推 薦 要 件	
以下の1から3のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)か(2)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月に修了又は修了見込みの者	
2. 出身学校長が発行する調査書の学習成績概評が B段階 (評定平均4.3以上)に該当する者で、かつ、出身学校長が人物・能力等について責任を持って推薦できるもの	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	

⑫ 医薬保健学域 保健学類 放射線技術科学専攻の推薦入試Ⅱで課す大学入試センター試験の配点を下記のとおり変更する。 …… (要項 p.43 参照)

【変更前 (平成29年度)】

配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		センター試験	200	※100(100×1)		200	200	200		
	個別学力検査等							400		400
	計	200	100		200	200	200	400		1300



【変更後 (平成30年度)】

配 点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
		センター試験	100	※100(100×1)		200	400	200		
	個別学力検査等							400		400
	計	100	100		200	400	200	400		1400

③ 医薬保健学域 保健学類 理学療法専攻の推薦入試Ⅰを推薦入試Ⅱに下記のとおり変更する。
…… (要項 p. 45 参照)

【変更前 (平成29年度)】

推薦要件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成28年4月から平成29年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成28年4月から平成29年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	
選抜方法等	
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。	
2. 選抜は、面接の結果及び調査書、推薦書、志願理由書等提出された書類により総合して行います。	
3. 配点	
面接 (調査書、推薦書、志願理由書を含む)	100点



【変更後 (平成30年度)】

推薦要件	
以下の1から4のすべての条件を満たす者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの	
1. 次の(1)から(3)のいずれかに該当する者	
(1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成29年4月から平成30年3月までに卒業又は卒業見込みの者	
(2) 通常の課程による12年の学校教育を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
(3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成30年3月までに修了又は修了見込みの者	
2. 学業成績が優秀、人物に優れ、理学療法学に対する明確な志向と勉学の熱意を持ち、出身学校長が責任を持って推薦できる者	
3. 合格した場合、入学することを確約できる者	
4. 推薦は、1校につき1名とします。	

選抜方法等										
選抜は、大学入試センター試験の成績、面接の結果及び提出書類等 (調査書、推薦書、志願理由書) により総合して行います。										
科目等	教科	科目名等								
	センター試験	国語 地理歴史 公民学 数学 理科 外国語	(「国語」) (「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」) (「倫理、政治・経済」) (「数学Ⅰ・数学A」)と (「数学Ⅱ・数学B」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」から1) (「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」から2) (「英語」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」から1)	} から1						
	個別学力検査等	その他	面接 (調査書、推薦書、志願理由書を含む)							
配点		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・口述試験	配点合計
	センター試験	200	※100 (100×1)		200	200	200			900
	個別学力検査等							600	600	
	計	200	100		200	200	200	600	1500	

④ 帰国子女入試の出願資格を以下のとおり変更する。 …… (要項 p. 47 参照)

【変更前 (平成29年度)】

2 出願資格
日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者ととも外国に在留し、外国で学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当するもの
(1) 外国の教育制度に基づく教育機関において12年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成27年4月から平成29年3月までに卒業 (修了) した者及び卒業 (修了) 見込みの者
(2) 外国の教育制度に基づく教育機関において2学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第3学年に編入学した者で平成29年3月までに卒業見込みのもの
(3) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成27年4月から平成29年3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成29年3月31日までに18歳に達するもの
(4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成27年4月から平成29年3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年3月31日までに18歳に達するもの
(5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成27年4月から平成29年3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年3月31日までに18歳に達するもの
(注) 1. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は、外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含まれません。
2. 保護者の帰国に同伴せず、保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの滞在期間が1年以上経過した者は出願できません。



【変更後 (平成30年度)】

2 出願資格
日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等の事情により保護者ととも外国に在留し、外国で学校教育を受けた者のうち、次のいずれかに該当するもの
(1) 外国の教育制度に基づく教育機関において12年の課程のうち、日本の高等学校に相当する学校に最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成28年4月から平成30年3月までに卒業 (修了) した者及び卒業 (修了) 見込みの者
(2) 外国の教育制度に基づく教育機関において2学年以上継続して学校教育を受け、引き続き、日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の第3学年に編入学した者で平成30年3月までに卒業見込みのもの
(3) 外国において、日本の高等学校に対応する学校の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における11年以上の課程を修了したとされるものであることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。) で文部科学大臣が別記指定するものを、最終学年を含め2学年以上継続して在学し、平成28年4月から平成30年3月までに修了した者及び修了見込みの者
(4) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成28年4月以降に授与された者で平成30年3月31日までに18歳に達するもの
(5) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成28年4月以降に取得した者で平成30年3月31日までに18歳に達するもの
(6) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成28年4月以降に取得した者で平成30年3月31日までに18歳に達するもの
(7) グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル (GCE Aレベル) 資格を平成28年4月以降に取得した者で平成30年3月31日までに18歳に達するもの
(8) 外国において、国際的な評価団体 (ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンセラー・オブ・インターナショナル・スクールズ) から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を、最終学年を含めて2学年以上継続して在学し、平成28年4月から平成30年3月までに修了した者及び修了見込みの者で平成30年3月31日までに18歳に達するもの
(注) 1. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程における教育の期間は外国の教育制度に基づく教育機関における教育の期間には含まれません。
2. 保護者の帰国に同伴せず、保護者が帰国した後、本人が帰国するまでの滞在期間が1年以上経過した者は出願できません。
3. (7)については、GCE Aレベル (General Certificate of Education, Advanced Level) 試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、金沢大学 (入試情報) Web サイト (http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/) を確認してください。

㉔ 人間社会学域 国際学類の帰国子女入試の選抜方法を下記のとおり変更する。 …… (要項 p. 48 参照)

【変更前 (平成29年度)】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験—TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT のいずれかのスコア 3. 第1次選考結果は、本人あて通知します。 4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。 5. 合否判定 第1次選考 (100点満点) と第2次選考 (100点満点) の結果を総合して行います。



【変更後 (平成30年度)】

選 抜 方 法 等
1. 大学入試センター試験及び個別学力検査を免除します。 2. 第1次選考 提出された書類の審査、外部試験の成績 外部試験—TOEFL-iBT, IELTS (アカデミック・モジュール), GTEC-CBT, TEAP のいずれか 3. 第1次選考結果は、本人あて通知します。 4. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して面接を実施します。なお、調査書は面接の参考とします。 5. 合否判定 第1次選考 (100点満点) と第2次選考 (100点満点) の結果を総合して行います。

㉕ 理工学域の帰国子女入試の選抜方法を下記のとおりとする。 …… (要項 p. 48 参照)

学 類	選 抜 方 法
教物科学類	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査 (前期日程)、面接の結果及び成績証明書 (調査書) 等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査 (前期日程) で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B)
物質化学類	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査 (前期日程) の結果及び成績証明書 (調査書) 等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査 (前期日程) で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (化学基礎・化学) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
機械工学類・ フロンティア工学類 (仮称)・ 電子情報通信学類 (仮称)	1. 機械工学類・フロンティア工学類 (仮称)・電子情報通信学類 (仮称) の選抜は3学類一括で実施します。各学類への所属は2年進級時からとなります。 2. 大学入試センター試験を免除します。 3. 選抜は、個別学力検査 (前期日程) の結果及び成績証明書 (調査書) 等提出された書類により総合して行います。 4. 個別学力検査 (前期日程) で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
地球社会基盤学類 (仮称)	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は個別学力検査 (前期日程) の結果及び成績証明書 (調査書) 等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査 (前期日程) で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物, 地学基礎・地学から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)
生命理工学類 (仮称)	1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、個別学力検査 (前期日程) の結果及び成績証明書 (調査書) 等提出された書類により総合して行います。 3. 個別学力検査 (前期日程) で課す教科・科目名 数 学 (数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B) 理 科 (物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から1) 外国語 (コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)

⑳ 理工学域の国際バカロレア入試の出願資格及び選抜方法を下記のとおりとする。 …… (要項 p. 50～p. 51 参照)

出願資格	次の(1)～(3)のいずれにも該当する者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成30年(2018年)3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの (2) 国際バカロレア資格の取得において、次の①及び②に該当する者又は平成30年(2018年)3月までに該当する見込みの者 ① 言語Aを日本語により履修し、成績評価が4以上の者 ② 本学の指定する次表の科目を履修し、必要な成績評価を修めた者														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学域</th> <th>学類</th> <th>指定する科目等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">理工学域</td> <td>数物科学類</td> <td>数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び物理 (HL 成績評価 4 以上) 又は 数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び化学 (HL 成績評価 4 以上)</td> </tr> <tr> <td>物質化学類</td> <td>数学 (HL 成績評価 4 以上) 化学 (HL 成績評価 4 以上)</td> </tr> <tr> <td>機械工学類 フロンティア工学類 (仮称) 電子情報通信学類 (仮称)</td> <td>数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理 (HL 成績評価 4 以上)</td> </tr> <tr> <td>地球社会基盤学類 (仮称)</td> <td>数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び物理 (HL 成績評価 4 以上) 又は 数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び化学 (HL 成績評価 4 以上)</td> </tr> <tr> <td>生命理工学類 (仮称)</td> <td>数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理, 化学, 生物から1科目 (HL 成績評価 4 以上)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※HLはHIGHER LEVELを表す。</p>	学域	学類	指定する科目等	理工学域	数物科学類	数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び物理 (HL 成績評価 4 以上) 又は 数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び化学 (HL 成績評価 4 以上)	物質化学類	数学 (HL 成績評価 4 以上) 化学 (HL 成績評価 4 以上)	機械工学類 フロンティア工学類 (仮称) 電子情報通信学類 (仮称)	数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理 (HL 成績評価 4 以上)	地球社会基盤学類 (仮称)	数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び物理 (HL 成績評価 4 以上) 又は 数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び化学 (HL 成績評価 4 以上)	生命理工学類 (仮称)	数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理, 化学, 生物から1科目 (HL 成績評価 4 以上)
学域	学類	指定する科目等													
理工学域	数物科学類	数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び物理 (HL 成績評価 4 以上) 又は 数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び化学 (HL 成績評価 4 以上)													
	物質化学類	数学 (HL 成績評価 4 以上) 化学 (HL 成績評価 4 以上)													
	機械工学類 フロンティア工学類 (仮称) 電子情報通信学類 (仮称)	数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理 (HL 成績評価 4 以上)													
	地球社会基盤学類 (仮称)	数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び物理 (HL 成績評価 4 以上) 又は 数学 (HL 成績評価 4 以上) 及び化学 (HL 成績評価 4 以上)													
	生命理工学類 (仮称)	数学 (HL 成績評価 4 以上) 物理, 化学, 生物から1科目 (HL 成績評価 4 以上)													
選抜方法	(1) 大学入試センター及び個別学力検査を免除します。 (2) 選抜は、提出書類等及び面接・口述試験の結果により総合して行います。														

㊸ 医薬保健学域 薬学類・創薬科学類のAO入試について、下記のとおり変更する。 …… (要項 p.52～p.53 参照)

【変更前 (平成29年度)】

事 項	内 容
募 集 人 員	薬学類 (6年制) と創薬科学類 (4年制) の選抜は一括で募集します。
出 願 資 格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成29年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成29年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成29年3月31日までに18歳に達するもの
選 抜 方 法 等	1. 選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、その他の書類により、書類選考を行います。 3. 最終選考 第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリングならびに大学入試センター試験により選考します。本学類が課す大学入試センター試験 (800点満点) の得点が概ね640点 (80%) 以上を合格の基準とし、レポートと口述試験の得点の高い者を合格者とします。 ①スクーリング 1日目：受講した演示実験又は課された実験課題などについて、レポートを課します。 2日目：1日目に提出されたレポートに基づいて、口述試験を実施します。数学・理科・英語などに対する勉学意欲ならびに目的意識について多方面から評価します。 ②大学入試センター試験 大学入試センター試験で課す教科・科目名 [5教科7科目] 国 語 (「国語」) 100点 地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) } から1 100点 公 民 (「倫理、政治・経済」) 数 学 (「数学I・数学A」と) 200点 (「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) 理 科 (「物理」と「化学」) 200点 外国語 (「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) 200点 合計 800点 4. 配点 レポート 100点 口述試験 50点
日 程 等	<出願時期> 10月中旬 <第1次選考結果発表> 11月上旬 <最終選考> 11月下旬 <大学入試センター試験> 1月中旬 <合格発表> 2月上旬



【変更後 (平成30年度)】

事 項	内 容
募 集 人 員	薬学類 (6年制) と創薬科学類 (4年制) の選抜はそれぞれ分けて募集します。
出 願 資 格	次の1から4のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者で、平成30年度大学入学者選抜大学入試センター試験で課す教科・科目を受験するもの 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者 3. 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月31日までにこれに該当する見込みの者 4. 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
出 願 要 件	次のすべてを満たす者 1. 学業成績が優秀で、人物的に優れ、大学入試センター試験 (1000点満点) の得点が750点 (75%) 以上の者 2. 本学大学院 (薬学専攻博士課程または創薬科学専攻博士後期課程) までの一貫した教育を受け、博士の学位を取得し、薬学教育・研究者や創薬研究者を志す者 ※ 大学入試センター試験で課す教科・科目名と配点 [5教科7科目] 国 語 (「国語」) 100点 地理歴史 (「世界史B」、「日本史B」、「地理B」) } から1 100点 公 民 (「倫理、政治・経済」) 数 学 (「数学I・数学A」と) 300点 (「数学II・数学B」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」から1) 理 科 (「物理」と「化学」) 200点 外国語 (「英語 (注)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1) 300点 合計 1000点 (注) 大学入試センター試験の「英語」については、英語外部試験のスコア利用を認め、TOEFL-IBT: 45~68、IELTS (アカデミック・モジュール) バンド: 3.0~6.0、GTEC-CBT: 820~1100、TEAP: 246~304の場合は、大学入試センター試験の「英語」の得点の80%から100%の得点を、外部試験のスコアに応じて与えます。TOEFL-IBT: 68以上、IELTS (アカデミック・モジュール) バンド: 6.0以上、GTEC-CBT: 1100以上、TEAP: 304以上の場合は、大学入試センター試験の「英語」の100%の得点を与えます。ただし、大学入試センター試験の「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入試センター試験における「英語」を受験する必要があります。
選 抜 方 法 等	1. 選抜は、第1次選考及び第2次選考により行います。 大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。 2. 第1次選考 提出された調査書、その他の書類、大学入試センター試験の得点により、出願資格および出願要件を満たしているか評価し、志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、募集人員の2倍程度になるよう選考します。 3. 第2次選考 第1次選考の合格者に対し、小論文と面接による試験を実施し、将来への高い目的意識とそこに向かう意欲・資質、本質への探究心、本学における学修意欲等について多方面から評価します。 ※ 配点 小論文 50点 面接 100点
日 程 等	・大学入試センター試験：平成30年1月13日～14日 ・出願時期：1月15日～19日 ・第1次選考結果発表：2月1日 ・第2次選考：2月5日 ・合格発表：2月7日

㉔ 私費外国人留学生入試の出願資格を以下のとおり変更する。 ……(要項 p. 54 参照)

【変更前 (平成29年度)】

<p>2 出願資格</p> <p>日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年(2017年)3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を平成29年(2017年)3月までに授与された者及び授与見込みの者で平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を平成29年(2017年)3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を平成29年(2017年)3月までに取得した者及び取得見込みの者で平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度(2015年度)又は平成28年度(2016年度)日本留学試験を受験した者（薬学類及び創薬科学類を除きます。）</p> <p>注意事項</p> <p>入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格（原則として「留学」）の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合、「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。また、短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。</p> <p>出願条件</p> <p>機械工学類については、日本留学試験において、指定された科目の合計点の得点率が60%を超えていること。</p>



【変更後 (平成30年度)】

<p>2 出願資格</p> <p>日本の国籍を有しない者（日本国の永住許可を得ている者を除く）で、次の(1)及び(2)に該当するもの</p> <p>(1) 次のいずれかに該当する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年(2018年)3月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑤ グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル(GCE Aレベル)資格を取得した者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>⑥ 外国において、国際的な評価団体(ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ、アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル又はカウンスル・オブ・インターナショナル・スクールズ)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を平成30年(2018年)3月までに修了した者及び修了見込みの者で平成30年(2018年)3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成28年度(2016年度)又は平成29年度(2017年度)日本留学試験を受験した者（薬学類及び創薬科学類を除きます。）</p> <p>注意事項</p> <p>入学後は「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定める在留資格（原則として「留学」）の取得が必要です。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格でも入学・在学することはできますが、その場合、「留学」の在留資格を対象にした各種助成制度を利用できません。また、短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。</p> <p>出願条件</p> <p>(1) 保健学類検査技術科学専攻については、日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること、並びに、TOEFLにおいて、得点率が60%を超えていること。</p> <p>(2) 上記②出願資格(1)⑤については、GCE Aレベル(General Certificate of Education, Advanced Level)試験において本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、金沢大学(入試情報)Webサイト(http://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/)を確認してください。</p>
--

㉕ 理工学域の私費外国人留学生入試の選抜日程等を下記のとおり変更する。 ……(要項 p. 55 参照)

【変更前 (平成29年度)】

選抜日程等	
<出願時期>	平成29年1月17日～20日
<選抜期日>	平成29年2月26日
<合格者発表>	平成29年3月7日
<入学手続>	平成29年3月27日まで



【変更後 (平成30年度)】

選抜日程等	
<出願時期>	平成29年10月23日～平成29年10月27日
<選抜期日>	平成29年11月25日
<合格者発表>	平成29年12月6日
<入学手続>	平成30年2月上旬

㉖ 医薬保健学域 保健学類の私費外国人留学生入試について選抜方法(実施教科・科目(学力検査等)及び配点等)を下記のとおり変更する。 ……(要項 p. 56 参照)

1 看護学専攻

【変更前 (平成29年度)】

選抜方法
1. 大学入試センター試験を免除します。
2. 選抜は、小論文、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後 (平成30年度)】

選抜方法
1. 大学入試センター試験を免除します。
2. 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。
3. 学力検査で課す教科・科目名
理 科(物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1)
外国語(コミュニケーション英語II、コミュニケーション英語III、英語表現I、英語表現II)

2 放射線技術科学専攻

【変更前 (平成29年度)】

選抜方法
1. 大学入試センター試験を免除します。
2. 選抜は、小論文、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後 (平成30年度)】

選抜方法
1. 大学入試センター試験を免除します。
2. 選抜は、学力検査、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。
3. 学力検査で課す教科・科目名
数 学(数学I、数学II、数学III、数学A、数学B)
理 科(物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1)

3 検査技術科学専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法
1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、 小論文 、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法
1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 出願条件 日本留学試験において、指定された科目を受験し、その合計点の得点率が60%を超えていること、並びに、 TOEFL において、得点率が60%を超えていること。そのうえで、以下の試験を行います。 3. 選抜は、 学力検査 、面接の結果を総合して行います。 4. 学力検査で課す教科・科目名 数 学 （数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B） 理 科 （物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1）

4 理学療法専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法
1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、 小論文 、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法
1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、日本留学試験、TOEFL、面接の結果を総合して行います。

5 作業療法専攻

【変更前（平成29年度）】

選 抜 方 法
1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、 小論文 、面接、TOEFL、日本留学試験の結果を総合して行います。



【変更後（平成30年度）】

選 抜 方 法
1. 大学入試センター試験を免除します。 2. 選抜は、日本留学試験、TOEFL、面接の結果を総合して行います。